

第368号 (平成30年9月18日(火)発行)

発行所

京都女子大学 宗教部

京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075 (531) 7074

華利陀茶

本師道禪師は
聖道方行さしおきて

唯有浄土一門を

通入すべきみちとく

〔高僧和讃〕道禪師
第一首



仏と母と、そして私 仏教学非常勤講師 塚本一真

自らを知る

記録的な猛暑となった夏が終わり、後期の講義が始まります。今年の夏は、ずいぶん水分を取ることに気をつけました。それは、昨年、熱中症になったことによりです。あれほど、テレビやラジオで言っていたにもかかわらず、「まさか若い自分になるはずはない」と高をくくっていた。そこに、大きな落とし穴があったのです。自らを知っているようで知らない私であること、体を通して感じる出来事でした。

母親のような仏さま

さて、親鸞聖人は、自らを本当に知るのには、阿弥陀如来という仏さまの光に照らされてこそだといわれます。その著作には、自身のすがたを「罪」や「悪」、あるいは「愚」との字を用いて表現されることが多くあります。それは、まさに煩惱をかかえた自身のありのままのすがたでありましよう。それでは、親鸞聖人は、悲しみ嘆くべき私であると、ただ、自らを卑下し続けた人生を送られたのでしょいか。いや、決して、そうではありません。そのすがたは、常に阿弥陀さまに包まれたも

ので、そのことを喜ばれた人生でもあったのです。

阿弥陀さまは、「釈迦・弥陀は慈悲の父母」といわれるように母親、慈悲といわれるそのはたらきは、親の愛情に譬えられます。仏教学の講義の中で、「何も無い島で一人で一生過ごしていくことになりました。もしも一つだけ(あるいは一人だけ)許されるとしたら何を持っていくますか」と学生に尋ねたことがありますが。回答の中で、意外だったのは、持っていくのは「母親」と書いた学生が何人もいたことでした。おそらく、何が起るか分からない状況の中でも、自分を失うことなく、安心を与えてくれる特別な存在ということなのでしょう。母親とは、かくも大きいものかと思いたったのです。

アンマー

「かりゆし58」というバンドに、「アンマー」という曲があります。「アンマー」とは、沖縄の言葉で「お母さん」という意味です。ポーカーである前川さんは、地元の間とバンドを結成し、インディーズレーベルからCDデビューを果たしました。しかし、なかなか順調にはいきません。次が

売れなかつたら契約打ち切りになるといわれま

す。そして、最後になるかもしれない曲として作ったのが「アンマー」なのです。歌詞には、彼が母親に対して、どのような子どもであったか、そして、彼に対して、どれほど愛情深い母であったかが綴られています。彼は、幼い頃から決して裕福ではなく、中学、高校と、ケンカや悪さばかりをくり返す生活をおくっていました。しかし、どんなに遅く帰っても、いつも食卓の上には、彼の分の茶碗が並べられていたのです。

学校を出ても、職につかず、言い訳と愚痴をこぼす毎日でした。うまくいかないことで、酒におぼれ、眠りに落ちる夜明け頃に、彼は玄関から母が仕事に出て行く音を聞いていたのです。彼は母の愛情に背き続けます。しかし、母はどのような彼であろうと、いつもいつも変わらず、育み続けるのです。どれほどその思いを踏みにじろうと、母が彼を見捨てることは決してありませんでした。そして、彼は、常に自分のすべてを包み込むような愛があったことに気づいたことを、母親への感謝の思いとともに歌いあげています。

アンマーよ 私はアナタに言っているはいけない

決して口にしてはいけない言葉を 加減もせずに投げつけては アナタの心を踏みにじったのに アンマーよ アナタはそれでも変わることもなく私を愛してくれました

木漏れ日のようなぬくもりで 深い海のような優しさで 全部全部私のすべてを包み込んだ(中略)

度が過ぎるほどの頑固さも わがままも卑怯な嘘もすべて すべて包み込むような 愛がそこにはありました

とは、母の変わらぬ愛情に育まれ、包まれた私でもあります。母親の愛情というものは、背き続けるような私であっても、そのような私にこそかえって注がれるものでありましよう。阿弥陀さまの慈悲も同じなのです。

自らを知らされる

私にも経験があります。自分を気にかける愛情や思いが鬱陶しく、背を向け思わず暴言を吐いてしまふ。それでも、受け止め、そして、私の思いを包み込んで、誰よりも私を願ってくれている。そのことを知る時、浅はかであった恥づべき自身すがたが知らされ

ます。親鸞聖人は、そのことを「愚」や「罪」、そして「悪」という字を用い、自らのすがたとして表現されたのです。

阿弥陀さまとは、私の生と死をまるごと包み込むような仏さまです。そのことを知る時、浅はかであった恥づべき自身すがたが知らされ

生涯は、自らへの嘆きと、ぬくもりの中にある喜びとが、同居していたことでしょう。みなさんが、親鸞聖人の教えを聞かれる時、どうしようもない人間の私ばかりが、強く印象に残ることがあるかもしれせん。しかし、大いなるものに包まれてこそ、

ちつぽけな自らが知らされるのです。光に照らされるからこそ、明らかに影があるように。ぬくもりに包まれるからこそ、感じる凍えがあるように。私のすがたが知らされるのは、母親のような阿弥陀さまのはたらきの中でのことであつたのです。

平成30年10月 月例礼拝日程表					
日	曜日	講時	対象学生	担当	講師
9	火	1	福祉1	西	今村優花
		3	造形3	森田	田中美紗
10	水	1	心音1	森田	田中 純
		2	福祉3	黒田	高階 優
11	木	1	現社3C・3D	森田・東光	今村優花
		4	現社3A・3B	那須・藤井	武内沙耶
12	金	1	食物1	塚本	高階 優
		2	教育1	三浦	高階 優
		3	児童3	秋本	大江祥子
15	月	1	現社1A・1B	中西・野村	塩見春香
		2	史学1A・1B	野村・上野	塩見春香
		3	国文1A・1B	普賢・黒田	平林美波
		4	児童1	黒田	平林美波
16	火	1	教育3	森田	中村玲子
		4	英文3A・3B	黒田・清基	田中美紗
17	水	1	法学1	藤井	小田島爽夏
19	金	1	英文1A・1B	秋本・三浦	大江祥子
		2	心音3	塚本	田中 純
22	月	1	現社1C・1D	那須・安田	武内沙耶
		2	造形1	井上	原 優奈
24	水	1	食物3	普賢	原 優奈
		3	史学3A・3B	竹本・東光	加地奏絵
24	水	1	法学3	普賢	加地奏絵
		3	国文3A・3B	森田・普賢	小田島爽夏

◎歌唱指導を実施

食物栄養学科からの便り

④ 『彦根りんご』のこと

皆さんは「彦根りんご」というりんごをご存知だろうか。私と「彦根りんご」の出会いは十年以上前のことである。滋賀県の特産物の調査をする機会を得て行った、彦根市の調査の調査品目に「彦根りんご」があった。彦根市を調査地に選んだのは、調査に行く交通の便が良いという安易な理由であった。りんごといえは青森県に代表される果実であるが、「なぜ彦根でりんご？」という疑問を抱きながら調査の結果ができたので、一部を紹介する。

栽培りんごの原産地は中国新疆ウイグル自治区とされている。日本のりんごには、中国からヨーロッパを経てアメリカに伝来したものが明治期に日本へ導入されたものと、

これ以前に中国より伝来したものがある。明治期には前者をセイヨウリンゴ、後者をワリンゴと呼んで区別していたが、現在栽培されているワリンゴはセイヨウリンゴのこと。『彦根りんご』はワリンゴの系統に属する。根市を調査地に選んだのは、調査に行く交通の便が良いという安易な理由であった。りんごといえは青森県に代表される果実であるが、「なぜ彦根でりんご？」という疑問を抱きながら調査の結果ができたので、一部を紹介する。

栽培りんごの原産地は中国新疆ウイグル自治区とされている。日本のりんごには、中国からヨーロッパを経てアメリカに伝来したものが明治期に日本へ導入されたものと、

これは、故岡島正夫画伯が写生された「彦根りんごの図」という水彩画が残されており、セイヨウリンゴと比較すると小さく扁平であり、熟すと黄色の果実の表面に鮮赤色の部分が出るとい

いては、故岡島正夫画伯が写生された「彦根りんごの図」という水彩画が残されており、セイヨウリンゴと比較すると小さく扁平であり、熟すと黄色の果実の表面に鮮赤色の部分が出るとい

いては、故岡島正夫画伯が写生された「彦根りんごの図」という水彩画が残されており、セイヨウリンゴと比較すると小さく扁平であり、熟すと黄色の果実の表面に鮮赤色の部分が出るとい

いては、故岡島正夫画伯が写生された「彦根りんごの図」という水彩画が残されており、セイヨウリンゴと比較すると小さく扁平であり、熟すと黄色の果実の表面に鮮赤色の部分が出るとい

いては、故岡島正夫画伯が写生された「彦根りんごの図」という水彩画が残されており、セイヨウリンゴと比較すると小さく扁平であり、熟すと黄色の果実の表面に鮮赤色の部分が出るとい

院生時代だったと思うが、加賀乙彦氏の「宣告」を読んだのがきっかけで一人の死刑囚に興味を持った。エリート証券マンが東京の新橋で強盗殺人を犯し、京都の哲学の道付近で逮捕された。逮捕時に「お！ミステイク」と言ったことでも話題になった。その死刑囚は拘留所に収監されている間に洗礼を受けた。加賀乙彦氏は当時、拘留所の医務官であった。その死刑囚の手記が、宇治の教会に残されていることを知り訪ねたことがある。シスターが対応してくれ、私に「何か宗教をお持ちですか？」と尋ねられたので、「はい、浄土真宗です」と答えると、「お若いのに立派ですね」と言ってくれたことが忘れられない。信仰を持つということは他者の信仰も尊重するということを学んだ。

以前、寺に宗教の勧誘にやられて来た輩がいる。やんわりと「伽藍が見えませんか？」と言っても聞かずに持たず一方的に話しかけた。そこで話をしばらく聞くことにし、ことごとく論破していくと、「もう一度勉強してか来ます」と言ってくると、現れることはなかった。自分の信仰を大切にすることは相手の信仰も大切にすることである。本学は念仏者であった甲斐和里子先生ご夫妻が、仏教精神に基づいた学校教育を目指して造られた学校である。キリスト教の信仰を持つこと、また他の信仰を持つことも尊重する。信仰を持つ者であれば一層、甲斐和里子先生の建学の目的、本学がどういった場であるかを十分理解できるのではなからうか。(河野 篤子)



大学生とサークル活動

発達教育学部教授 森 繁 男

京女大生はすごい！

私は今年で本学を定年になります。思えば長らく皆さんの先輩たちを見てきました。そして、今も皆さんを…。その結論は、自信をもって「すごい！」と言えるでしょう。

まずは、(よく世間で評されるように)「まじめに学ぶ」こと。これは否定しませんがありません。実に多くの授業を登録し、実にせっせと出席し、実にいい成績を取る。これは「学生の基本」として大いに賞賛すべきところではあります。

でもそれだけではありません。本学の学生は(そのイメージからずれているかも知れませんが)「活発に動く」のです。学内で、学外で、はたまた

地元で…。その中心は、やはり(公認・非公認を含めた)「サークル活動」でしょう。なんと、(2017年度のデータでは)大学に認知されているだけでも75団体、2、098人(在学生総数の1/3強)もの加入者がいるのです! こうした団体数、加入率は女子大学の中ではピカイチです。

ここでは、このような「サークル活動」の意義について、私自身の経験を交えて、少し考えてみましょう。

クラブ活動の果実
皆さんの多くは、中高時代に何らかの「クラブ活動」経験がありでしょうか? 私も(見かけ

るとは異なり)ずっと「体育会系」だったんですよ! その主たる動機は「背を伸ばしたい」というものでしたが、これは見事、未達成に終わりました。(笑)それでも私がクラブを続けられたのは、「その競技の技術が向上する」「全てを忘れて打ち込める」「仲間との一体感が得られる」「先輩、同期、後輩という人間関係が心地よい」といった数々のメリットがあったからです。それは「正課(授業や行事)」では得られない「学校の楽しさ」に繋がっていました。いわば「クラブがあるから授業も我慢できる」(笑)ってなところだったのでしようか。私の専門である「教育社会学」の視点からすれば、「クラブ活動は、中高教育の潜在的維持機能を有する」ということになりましょうか。

最近の研究に拠れば、「個人が趣味を媒介にして、特定の組織もしくはグループに加入することで、そこで交友関係を広げたり、社会関係を活性化させたりする『趣味縁』を通じて、若者が社会と接点をもつこと、他者とのコミュニケーションが強まる(深まる)ことが論じられている。」(浜島幸二、2018)

私の長い「京女生活」から察するに、決してそうではありません。むしろ「授業を楽しみながら頑張っている」学生に限って「サークルにも力を入れていく」ようなのです。これはいったい、どういうことなのでしょう。

最近の研究に拠れば、「個人が趣味を媒介にして、特定の組織もしくはグループに加入することで、そこで交友関係を広げたり、社会関係を活性化させたりする『趣味縁』を通じて、若者が社会と接点をもつこと、他者とのコミュニケーションが強まる(深まる)ことが論じられている。」(浜島幸二、2018)

法のことば

本師道禪師は

聖道万行さしおきて

唯有浄土一門を

通入すべきみちととく

〔高僧和讃〕道禪師第一首

七高僧の四人目は、中国の道禪師(五六二〜六四五)です。北齊の国に生まれ、十四歳で出家されましたが、十七歳の時、祖国は隣国の北周に滅ぼされます。北周の宣武帝は、徹底的な仏教弾圧を行った為、仏教界は壊滅状態となります。やがて、その北周も隋に滅ぼされ、さらにその隋も唐に取って代わられます。国の興廃が繰り返され、仏教弾圧によって社会的不安が広がったことから、「末法思想」が高揚されることとなります。

道禪師は、末法の時代には、釈尊の影響力が薄れ、教えを実践する人間の能力が衰えていることを指摘されます。そのような時代と人間においては、この世で煩悩を断ちきって悟りに至るといふ聖道門の教えを実践することは極めて困難です。曇鸞大師の教えに出あった道禪師は、自分に残されたのは、阿弥陀仏の本願力によって浄土往生を遂げて悟りに至る道しかない(と気づかれ、ただ「浄土一門」のみが、悟りに「通入すべきみち」であると説かれたのです。

(森田 眞円)

この関わりを強めていく。ここでの「相互作用」とは「相手の思いを受け止めながら、あるいは時にぶつかりながら、自分の思いを伝えていく」ことに他なりません。私自身は、大学時代に「マスコミ研究会」というサークル活動をしていました。これはまさしく「相互作用の連続」でした。もともと、その先には必ず「飲み会」があったのですが…。(笑)それはともかく、この頃の若い人たちは「思いを伝えたい優しさ」や「敢えて責めない気遣い」が過剰に感じられます。これでは「距離感を維持する」だけに終わって「自他を近づける」ことにはならないように危惧するのは、私が歳を取ってしまったことの証しかも知れません。

「大学でのサークル活動」には「関心を共にする」ということからくる「基本的信頼感」(Basic Reliability)が既存しているはずで、それをうまく「大いに語り、伝え、ぶつかり合って、大きく育ってほしい」と、定年を前にして、「若さ」への少々のジェラシーも交えながら「心から願っています。

お知らせ

◆ 仏教文化公開講座 (ご案内) ◆

日時 平成30年10月27日(土) 13:00~14:45
場所 本学礼拝堂(A校舎5階)
講師・講題 「龍樹菩薩に学ぶ—空性論の展開から浄土教の導きへ—」
国際仏教文化協会理事長、元京都女子大学教授 佐々木 恵精氏

◆ 本願寺書院拝観 (後期) ◆

日時 平成30年10月17日(水) 15:15~17:00
集合場所 京都女子大学「錦華殿」前14:45
募集人数 30名(先着順)

◆ 秋の見学会 (バスツアー) ◆

日時 平成30年11月1日(木)
8:45出発~17:30帰着予定
(集合8:30 大学J校舎1階フロア)
行先 谷性寺(光秀寺)・亀岡城跡・トロッコ(嵐山・嵯峨野方面)散策(京都府)
参加費用 1,000円(昼食代込み)
※拝観料等は大学が補助します!!

募集人数 44名(先着)

※学生行事週間のため授業はありません。

◆本願寺書院拝観(後期)及び秋の見学会(バスツアー)の申込期間は平成30年9月25日(火)~10月12日(金)です。J校舎の証明書発行機にて申し込みの後、申込書を宗教教育センター(同3階)まで持参してください。

シリーズ

智慧の蔵 18

『君たちはどう生きるか』

吉野源三郎 著 岩波文庫 一九八二年



いつの頃から、こんなにも薄汚れたところを持つようになったのだろうか。この世に生まれ出た時、わたしはまだ白紙に近いところであったのだと思う。そして、周囲からの影響や様々な経験に色付けられて、今のわたしとなったのだろう。どこでどう間違ってしまったのか。知ることになったところから、はたしてどれ程の者だということか。主人公コペル君と叔父さんの純粹さにあてられ、自らの姿を見つめ直させられる。

沢山の印象に残るエピソードの中でも、特に胸に響いた物語を紹介したい。コペル君の友人が上級生達に因縁を付けられ殴られた時、身を挺して庇った二人の友人を尻目に、コペル君は一人傍観者として友人を助けに飛び出すことができなかった。それで「いざとなると、自分があんなに臆病な、あんなに卑怯な人間になるうとは、今度のことがあるまで、夢にも思わなかった」と打ちのめされる。叔父さんの「一番深く僕たちの心に突き入り、僕たちの目から一番深い涙をしばり出すものは、自分が取りかえしのつまったという意識だ」と

わたしたちの生き方が問われ、素直さと誠実さを取り戻す大切な機会であると教えてくれる。

書名の「君たちはどう生きるか」との問いは、年齢に関係なく案外と答えることが難しい。大学生の皆さんにも、学生生活の中でぜひともじっくり向き合ってください。問いである。気持ち揺さぶられる沢山の経験を通して見えてきた生き方は、丁寧に向き合い言葉化するによって、必ずわたしたちの人生の大きな宝物になりうる。

(竹本 了悟)